学校運営協議会　会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第８条第１項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

１　会 議 名　　岐阜城北高等学校　学校運営協議会（第３回）

２　開催日時　　令和５年２月６日（月）　１３：３０～１５：３０

３　開催場所　　岐阜城北高等学校　会議室

４　参 加 者

会　長	神谷　政人	岩野田まちづくり協議会事務局長
委　員	林　　祐二	三田洞地区自治会長
	前田　吉彦	岐阜北ロータリークラブ
	白山　和江	本校ＰＴＡ会長
学 校 側	下平　義広	校長
	野口　雅子	教頭
	武藤　純二	教頭
	後藤　　清	事務長
	森　　公彦	教務部長
	後藤　慎二	生徒指導部長
	車戸　祐介	進路指導部長
	井口　貢志	総合学科長
	杉山　福美	生活デザイン・生活文化科長

５　会議の概要（協議事項）

（１）卒業発表会について

意見１：発表の内容がうまくまとめられていることにとても感心した。卒業発表会という機会があることが、生徒の大きな喜びと成長につながっている。

意見２：各系列やコースの取組内容が理解できた。生徒にとってこの３年間の成果は、将来の強みになると思う。卒業後もこの強みを生かし頑張ってほしい。

意見３：完成度が非常に高く、楽しく観ることができた。秋に授業参観をしたが、その時に制作していたものが今回の卒業発表会での成果となって現れており、とても感心した。また、各系列やコースの学びで身に付けた知識・技術を将来の職業選択に生かしてほしい。

意見４：コロナ禍となり、学校を訪問する機会が減少し、紙面だけの情報では各系列やコース学びの内容がわからないことがあった。今回、各系列やコースのステージ発表や作品展示を観ることで、改めて学びの内容を知ることができた。また、生徒の活き活きとした姿を見ることができ非常によかった。

（2）令和４年度　自己評価について

①生徒指導部

意見１：授業規律を重視していくことも大切ではないか。（複数）

意見２：３年生になると落ち着いてくるとよく言われるがどうか。

⇒本校も同様である。多くの生徒が、進路実現に向けて努力している。

②学　科

意見１：学校内の活動だけではなく、地域に飛び出していってほしい。地域との連携の取組は、各方面での評価が高い。地域も高齢化が進み、将来のまちづくりを考えたとき、地域に高校があることはとても心強い。今後も積極的に地域と連携した取組を期待している。

意見２：地域と連携した取組を増やすことによって、生徒の心に地域の方々に見守られているという自覚が芽生え、心身の成長につながるとよい。

（3）部活動の見直しについて

意見１：部活動の顧問をしている教職員数はどれくらいか。

⇒５７名で、部活動数の見直しを進めていくことで、より充実した指導体制と部活動の活発化を目指していきたいと考えている。

意見２：部活動の加入状況は。

⇒１年生はほぼ全員が加入しているが、２・３年生は約７割弱の加入である。

（4）本校への意見、提言等について

意見１：今後のWithコロナを見据えた学校教育のあり方を検討してほしい。

意見２：多様な生徒を抱える学校であるが、毅然とした態度で生徒の指導をお願いしたい。

意見３：今後も地域との連携を大切にしながら、様々な教育活動を通して生徒の強みとなる力を身に付けさせてほしい。

意見４：タブレット端末の活用方法について、生徒がより自主的に活用できる授業展開等をさらに研究してほしい。

意見５：様々なすばらしい取組に関して、地域への情報発信のあり方が重要である。

６　会議のまとめ

・第３回学校運営協議会において、本校のスクールポリシーについて承認を得られた。

・様々な視点の意見から改善が必要なところは速やかに対応し、今後の学校運営に生かしていきたい。